

つくろう！若い教職員の



絆

～きずな～



組合には、弱さをさらけ出せる仲間がいる。
組合には、人間的に高め合える仲間がいる。



【サッカー講座報告】

12月4日(日)に『学ぼう！サッカー指導のツボ』が行われました。町田ゼルビアの元選手、そしてふだん子どもたちにサッカーを教えているコーチのみなさんにサッカー指導のノウハウを教えてくださいました。もちろん、座学ではなく実践！準備運動からボール慣れ、動きの体得までの流れ、声のかけ方、用具の使い方…。どれもコーチのやり方には感心するばかり。「とにかく成功体験を少しでも味わってほしい」「子どもたちはこれまでの経験、できることがバラバラだから、それぞれがやることを選択できて、みんなが楽しく取り組めるようにしたい」。コーチ陣の考え方にも頭がさがりました。最後は、ゼルビアメンバーと一緒に試合！体も心も頭もほぐれるとっても楽しい講座でした。

来年も企画しますので一緒に行きましょう！

《参加者の感想》

感想①

とても楽しい講座でした。技能を高めるドリブルの方法や、楽しんで取り組めるウォーミングアップなど、現場の教員にとって大変参考になる内容でした。もし、来年もあれば、ぜひ他の教員にも参加してもらいたいと思いました。



感想②

楽しく受けることができました。ボールを動かすだけでなく、どう何を考えながら指導をしていくか教えて頂けたのがよかったです。早く学校で子供たちに教えたい！と思いました。ありがとうございました！サッカー未経験で不安もありましたが、みなさんの雰囲気もあって、楽しむことができました。

感想③

思考力を大切にしたい楽しい講座でした。楽しい雰囲気作りも大切なことをコーチから教わった気がします。授業でいかしていきたいと思います。今日は、ありがとうございました。

感想④

ボールけりゲームだけでなく、バスケットや体力作りの動きにもつながる内容だったことが、とても役に立つものだと感じます。また、実際に、サッカーをしているコーチ達から、違う動きや意図を知ることができるのは、今後の指導に活かせると思います。



感想⑤

とても面白かったです。ありがとうございました。コーディネーショントレーニング等、サッカー以外にもバスケやボール運動にも活用できるな、と感じました。

また、私は、高校のサッカー部ですが、高校の練習+ハンディキャップ（カップ等）で小学生にも適応できる練習をたくさん紹介して頂けたので、とても勉強になりました。狭い範囲のドリブルでも笛やグループ作りでねらいが増え、ぜひ学校で活用させていただきます。ありがとうございました。



【東京教組授業講座 第二回「目から鱗の漢字の話」 報告】

1月28日(土)に東京教組授業講座「目から鱗の漢字の話」が行われました。講師の天笠さんがして下さる漢字の歴史の話は非常に興味深く、写真の資料なども見せてもらいながら、殷の時代の甲骨文字からどのような過程を辿って現在の漢字になっていったのかを知ることができました。特に、これまで日本に伝わってきた漢字の成り立ちは、後漢の時代の「説文解字」を参考にしている、その多くが誤りであったということに本当に驚きました。その後にご話しいただいた、「甲骨文まで遡った本当の漢字の成り立ち」の多くは、古代中国の様々な儀式や慣習、考え方につながるもので、まるで歴史の勉強をしているかのようでロマンのあるものでした。そして、漢字のそれぞれの部分に明確な意味があって非常にわかりやすく、意味につながるのある字や、形が似ているけど本当は成り立ちが全く違う字など、字と字の関係性までわかりやすく説明していただきました。

また、「101漢字カルタ」(あわせ漢字のパーツになる基本の字)や象形文字・指事文字の絵カードの活用をすること、学期の後半では、漢字パズルを自分たちで作って楽しむことなど、子どもたちが漢字嫌いにならないための漢字指導法を教えてくださいました。漢字パズルの資料には、簡単に作れるように、学年ごとの配当漢字を仕分けした表まであり、早速明日からでも取り組めるようになっていて、漢字学習に対する意欲がわいてきました。

職場で今回の学習会のことを話したら、多くの人が興味をもって来て、職員室で大いに盛り上がりました。自分でも漢字のことをもっと知りたいと思えた素晴らしい学習会でした。

今後の企画・イベントコーナー

【第3回 連続講座 靖国神社について知ろう】

日時:3月4日(土)13:00~17:00

場所:日本教育会館 2階 東京教組会議室~靖国神社(集合は東京教組会議室)

「ヤスクニジンジャってたまに聞くけどよく知らないな」「なぜ、首相の参拝が問題になるの」など、青年層の皆さんには、あまり関心がなかったり、よく知らないから近づかなかったりするのが靖国神社ではないでしょうか。

でも、戦争の総括をどのように行うべきか、先の戦争をどのような位置づけで考えるか、というとき避けて通れないのが靖国神社の存在です。戦争中に、この神社がどのような機能を果たしたのか、今現在存在し続けているのは何故なのか、しっかり学習していきます。第一部では、仮説実験授業の授業書を用いたのミニ学習会、第二部では、実際に靖国神社や遊就館を歩きながら学習するフィールドワークを行います。東京で「戦争と平和」について考えたい3月だからこそ、ぜひご参加ください。